

支援の糸口チェックシート 開発プロジェクト要領

1 背景・目的

虐待対応従事者が当事者（本人、養護者等）への聞き取りや支援を進めるにあたって、当事者となかなか連絡が取れなかったり、当事者が支援者との関わりを拒むことがあり、必要な対応・支援が進まないことがある。

そのような時に、虐待対応従事者が当該事案（特に接近困難事案や関わり拒否事案）において、本人の状況に応じて、支援者としてできること・すべきことを確認・実行し、また対応方針を立てるためのツールとして、「チェックシート」を開発することとなった。

2 シートの概要（構成）

本人の状況（接触の可否、判断能力の程度等）に応じて、本人との関わりを探るための確認項目を点検するとともに、共通の確認項目として、本人の基本情報や緊急性の判断に関する内容を点検することができる。

3 開発プロジェクト

(1) メンバー

高齢介護課、障がい福祉課、高齢者生活支援センター（基幹含む）、障がい者基幹相談支援センター、権利擁護支援センター

(2) スケジュール

第 1 回	R6.7.3	キックオフ、目標、スケジュール
第 2 回	R6.8.15	先行事例研究（資料・文献等の収集）
第 3 回	R6.10.31	フローの検討
第 4 回	R6.12.2	個別事例研究（チェック項目の抽出）
第 5 回	R6.12.27	〃
第 6 回	R7.2.5	チェック項目の検討
第 7 回	R7.3.5	チェックシートの検討

4 今後の周知

本シートの活用が想定される虐待対応機関はじめ権利擁護支援従事者等（ケアマネ、相談支援専門員、民生委員等）にメール等で案内する、各関係機関の定例会等で配付する、また市の HP にて公開する。

5 権利擁護支援センター運営委員会での意見

- ・ 民生委員でも活用したいと思う。
- ・ 民生委員がチェックを付けた後どうすればよいか。→関係機関に相談してほしい。
- ・ 使う人によっては関係機関に相談してもらうように記載があると使いやすいと思う。

- ・ 専門職でも経験や勘に頼っている部分が多い。シートを活用して対応しやすくなる。